

1 用語の定義

本書中に記載のある各種用語の定義は下表のとおり。

用語	定義
公共ネットワーク	県庁、県現地機関、県立学校、市町等の施設を結ぶ佐賀県公共ネットワーク情報通信基盤をいう。
情報系ネットワーク	県が運用・管理する公共ネットワークのうち、県庁イントラネットを構成し、総務部行政デジタル推進課が運用・管理する LAN 及び WAN で、職員用のネットワーク PC が接続されているネットワークのこと。個人番号利用事務系（レベル 1）、個人番号関係事務系（レベル 2）及びインターネット接続業務系（レベル 3）の 3 つに論理分割されている。
防災行政通信ネットワーク	公共ネットワークを利用するネットワークのうち、防災行政通信ネットワークに係る機器（一斉系、映像系、情報系、管理系等）が接続されており、地上系有線、地上系無線で相互バックアップを行っている。
運用保守業者	公共ネットワーク（情報系ネットワークを含む）の運用・保守業務委託業者をいう。

2 業務内容

(1) 調達の範囲

本調達の範囲は、次頁「ネットワーク構成イメージ図」の赤線部分とし、佐賀県公共ネットワークの接続に必要な各ネットワーク機器の設計及び設定を行うものとする。

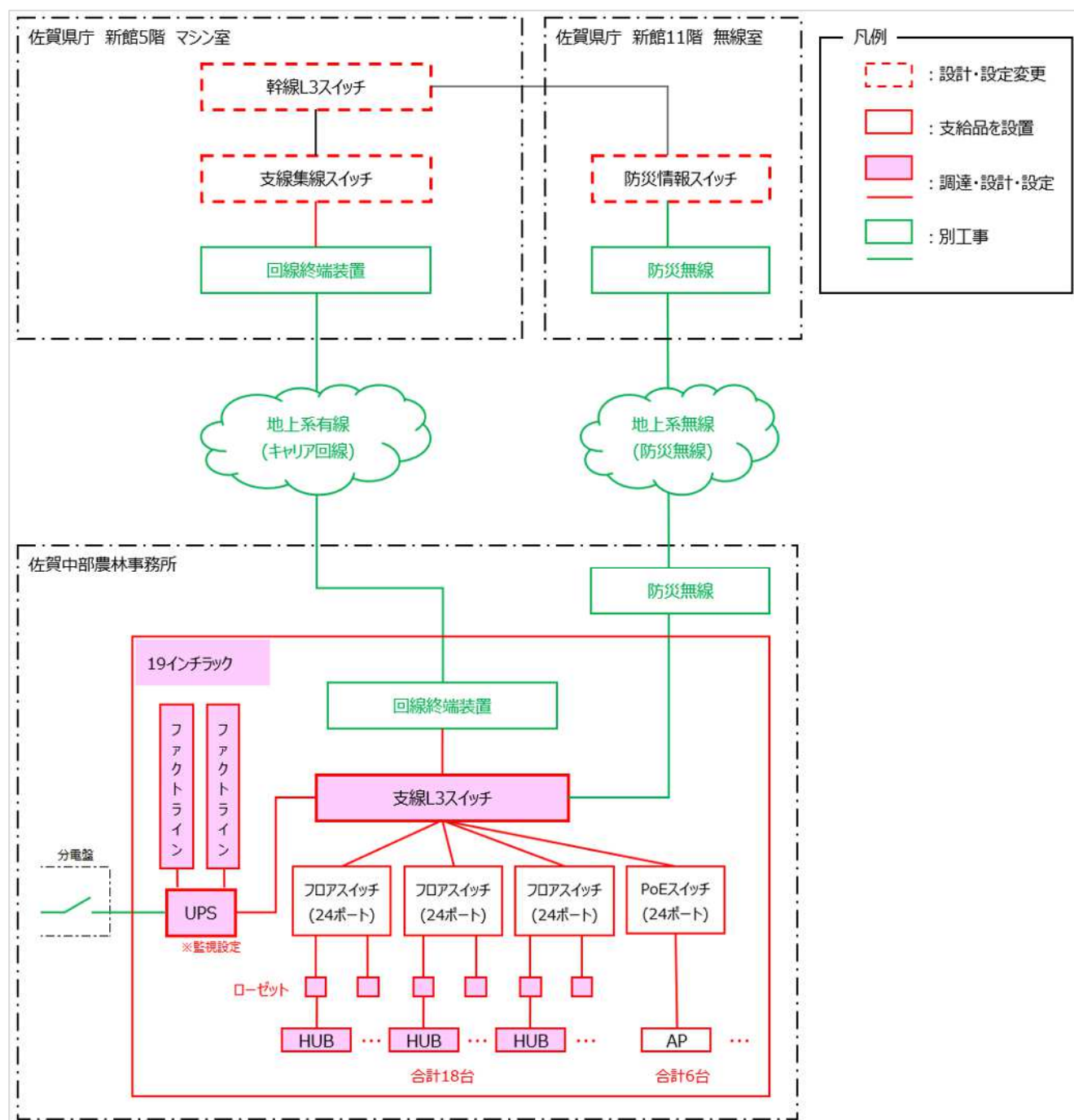
なお、設定を行う公共ネットワーク機器については、赤枠で示すスイッチ 4 台及び UPS（監視設定）とする。

(2) ネットワーク設計・設定業務

- ア 幹線 L3 スイッチ、支線集線スイッチ、防災情報スイッチ、支線 L3 スイッチに対して、必要な VLAN 設定、IP アドレス設定、及びルーティング設定等を行い、中部農林事務所(佐賀市大和支所)から情報系ネットワーク及び防災行政通信ネットワークに接続できるようにすること。
- イ UPS に遠隔から監視ができるように、IP アドレス、SNMP 等の設定を行うこと。
- ウ 既存の公共ネットワークに影響を及ぼさないよう、設計、設定、導入、試験においては、監督職員及び運用保守業者と十分な打ち合わせを行うこと。なお、設計・設定等において、運用保守業者に協力を依頼する場合は、請負者の負担にて行うこと。
- エ 導入する機器は、現地設置までに十分な検証を行うこと。また、現地設置後は通信試験を行い、正常性を確認すること。
- オ 防災行政通信ネットワークの通信試験においては、地上系有線と地上系無線が相互にバックアップできることを確認すること。
- カ 現地設置後、運用保守業者にて監視の登録を行うため、事前に運用保守業者と日程等の打ち合わせを行うこと。
- キ 幹線 L3 スイッチ、支線集線スイッチ及び防災情報スイッチに対する設定対応は、運用保守業者に協力を求めること。その際、設定対応に関わる費用は請負者の負担にて行うこと。

ク 各機器（幹線 L3 スイッチ、支線集線スイッチ、防災情報スイッチ、支線 L3 スイッチの設定シートを作成し、電子媒体に記録したもの（PDF 形式及び PDF 変換前の編集可能な MicrosoftOffice 等のデータ形式の 2 種類）を佐賀県行政デジタル推進課に提出すること。

■ネットワーク構成イメージ図



3 機密保持

- (1) 受注者は、個人情報等の管理を適正かつ厳格に行うこと。
- (2) 受託者は、本業務において知り得た業務上の情報を履行期間中、委託の終了又は解除後を問わず、

佐賀県の承認なしに第三者に開示または洩してはならない。

(3) 佐賀県が施設外への持ち出しを認めない資料については、施設内にて閲覧を行うこと。

4 特記事項

(1) 本仕様書に記載のない事項については、佐賀県と受託者とが十分に協議を行い決定するものとする。

(2) 本業務を佐賀県の許可なく再委託することは禁止する。

(3) 本業務の実施にあたっては、別記1「個人情報取扱特記事項」及び別記2「情報セキュリティ対策特記事項」を遵守するものとする。

以上